



宝木地区公民館だより

11月11・12日に「宝木地区文化祭」と宝木小学校「宝の木フェスティバル」と同時開催されました。たくさんの来場ありがとうございました。

宝木地区文化祭を

振り返って

文化祭実行委員長

竺原 正一

二十六回目となる「宝木地区文化祭」と宝木小学校行事「宝の木フェスティバル」が同時に執り行われました。

よりによって、何も分からない、何も知らない私が実行委員長に担ぎ出され、これまで見学者でしかなかった私は、何をしなければならぬのか、何が課題なのか全く分かりません。事務局、委員の皆さんに「おんぶ」に「ダッコ」と言う始末。文化祭を開催するには、三日間に亘って、搬入、準備・設営、撤収等大勢の方の協力がなければ、出来ないのだということを実感しました。

昼食イベントは、PTAの豚汁・宝木婦人会の炊き出し・食生活改善推進委員の揚げたてドーナツ・宝木部落公民館及び有志の餅つき・育成部のポップコーン。

数十名のお母さん・お父さん

んが調理場で大活躍でした。包丁使いが上手なお父さんもいれば、そうでないお父さんも、皆さんが調理をしておられる姿は、なかなか壮観でした。どれも大変美味しく、売れ行き（無料ですが）は上々で、盛況のうちに終了いたしました。

全校生徒による「総合表現活動」では、保護者をはじめ観衆に見守られ、生き生きと発表する姿は、大変感動しました。

近年、出演者・出品が減少傾向にあります。来年は新たな出演者と多くの出展をお待ちしています。



宜しくお願います。

ご来場いただきました地域の方々、実行委員の皆様

には大変お世話になり、本当に有難う御座いました。

子育てより難しかった

福助作り

本部 澄

七月十一日、元気のいい菊の若芽を挿し芽しました。生徒数十一名、「宝木地区公民館ふくすけくらぶ」の誕生でした。

水田先生が丹精込め育てられた若芽。兼六白菊、聖者、晴舞台・・・と名札の付けられた二十種近い束の中から、花の色型を想像しながら三本ずつをポットに植えました。先生の土作りから始まる分かり易い植え方、育て方のイ、ロ、ハは頭に入りません。言われるままの作業です。（これは私だけのことも）

それからが大変・・・

定植までに元気がないと先生宅に全株入院した事もありました。水やり、寒冷紗かけ、活力剤、肥料、病虫害防除剤、定植、矮化处理、脇目処理、支柱立て等々(覚えていないので順不同)。開花までに計十五回位は作業に出たでしょうか。日中の手入れは菊に良くないと

朝方と夕方の作業でした。

十月に入り、朝夕の水やりは館長と主事に任せっぱなし。先生も成育状況を気にして度々見に来て下さいました。ありがとうございました。

地区文化祭に照準を合わせた四ヶ月の活動で福助を出品展示する事が出来ました。立派な花の芯から、日に日に花びらが広がり、色鮮やかに大きく見事な花に成長していくのは感動でした。



菊作りは子育てより難しいと感じました。ともあれ、「宝木地区公民館ふくすけくらぶ」

はみんなの菊をみんななで育てる方式でしたので、落ちこぼ



れなく、そして、親達のきずなが深まる事ができました。来年はどうする？

半々の気持ちです。

ハッピースマイル

野間 紀代美

今年の春休みから旧本部分宅で、子どもの居場所としてサロンを開きました。実施に向けた何度かの話し合いの中で、「お金があると知恵を出さなくなる」との本部さんの言葉に私は「資金がなかったら何も出来ないし、あつて困るものでもない。」と強く反発しました。

サロンには遊び道具がなく、座布団、ペン、紙、テープを工夫し、時には食べ終わった弁当箱や保冷剤なども使って遊んでいました。

ある日のカレー作りでの事。上級生(四年生)が中心となって料理の分担を決めるなど、何でも子どもたちだけで考えて行動している事に気が付きました。一班に別れ千円つつ持って買い物に行ったところ、一時



間たつても帰って来ず、心配になり迎えに行こうとした時、二班が一緒に

に帰ってきました。どうして遅くなったのかと理由を聞くと、千円では足りず、トマトをプチトマトにしたり、牛肉を豚肉に換えたがまだ足りなかったのので、二つの班をまとめて二千円で買い物しようと話したそうです。お互いにこだわり物を買って、残りは半分に出来る物を選んで一、九七八円で買ったそうです。

その話を聞いて私はすごく感激して涙がこぼれそうになり、子ども達の頭をなで、「すごいね。賢いね。」といっぱい褒めました。

この時、「お金があると知恵が出なくなる。」の意味を子ども達から教わりました。本当に子ども達はすごいです。

しかし、この知恵も悪いほうへと発揮することもあるようです。その時は地域の方が「ダメだよ。危ないよ。」と声を掛けて頂けたらと思います。

今後サロンをどのように運営していくか決まっていませんが、子ども達が地域の方と一緒に楽しく過ごせる場所になったらいいなと願い、サロンを『三世代交流サロンハッピースマイル』と名付けました。



運動会に参加して

女性部長 木下 みゆき

予定日の九月十日に雨が降って順延となり、予備日の十七日に開催となりました。

当日も天候が心配されましたが、幸いにも台風が進路をそれ、前日からの雨も上がり、まずまずの運動会日和となりました。

女性部では今年の団体競技を新種目に変更しました。ラケットにボールを乗せて走るリレー、名付けて『オットトト』です。選手の中には「リレーですか」と少し不満の声もありました。簡単そうに思えましたがやってみると以外に難しく、なかなか思うようにいきません。しかしその思うようにいかない事が



選手も観客も面白く、大変好評だったように思います。また、

女性の踊りですが、例年よりも参加人数が少なかったようで、少し寂しかったですね。

来年は小学生のいない部落もありませんが、多



くの方の参加と協力を得て、ますます盛大になり、地域住民の親睦の場になればと思います。

健康ウォーク

浜田 秀夫

十一月三日（金）文化の日、地区公民館「生活習慣病予防教室」と健康づくり推進委員会の

神社で記念撮影をした後、全員が無事公民館へゴールすることができました。約三十名の参加でしたが、日ごろの運動不足から運動習慣の大切さと人と人とのふれあいの温かさを感じるウォーキングでした。



共催事業として、宝木地区ウォーキングを行いました。普段から歩いている人、まったく初めての人、年齢も十歳〜八十歳と幅広い方たちの参加で約六キロ（宝木地区公民館〜大龍院〜母木神社〜富吉神社〜常松薬師堂〜武宮神社〜宝木地区公民館）をおしゃべりしながら各々が自分のペースで元気に歩く歩きました。途中で椎の実を拾ったり、頂いた銀杏を食べながら歩きました。大龍院では野村和尚さんに暖かく迎えていただき、お寺の由来などのお話を聞きました。常松薬師堂では、区長さんのご好意により薬師如来像を拝観することが出来、とても感銘を受けました。武宮

パソコン教室

公民館職員

十一月より五回にわたり、パソコン教室を開催しました。受講者は七名。目標は「自分で年賀状を作る」です。

初心者の方が多かったので

電源の入れ方から入りました。ワードを開いて、文字の入力です。マウスを使うのが初めての方は、カーソルをうまく合わせる事が出来ず、四苦八苦。文字の入力が出来たら、色をつけたり、フォントを変えたり・・・。変形文字では、簡単に自由自在に変形するので、おもしろくなってきた様子が見られました。図の挿入では、好きな絵を入れ、大きさを換えたり、位置を動かしたりと、自分のイメージした年賀状が出来上がってきました。



この機会にパソコン購入を考慮の方もおられ、良いきっかけになりました。

歴史教室



ワクワク手芸



通学合宿

公民館活動の様子

宝木の畑に行こう



市民体育祭 陸上 Cグループ 3位!



三世代交流 グランドゴルフ



ソフトボール大会

磯の観察会



藍染め教室

編集後記
全国各地で子供の安全が危ぶまれる事件が発生しています。よそ事のように感じていましたが、本校区でも事件にはなっていないませんが、不審者が出現しています。
「宝木小学校区子ども見守る会」が発足し、ボランティアを募集しています。地域で子ども見守り育てていきたいと思います。
師走を迎えます。健康に注意し、明るい新年を迎えましょう。

下期の主な活動
2月 1日(木) 第3回園芸教室
18日(日) 綱引き大会
3月 9日(日) アロマセラピー
11日(日) ミニ卓球大会
その他に 文化講演会 などを予定
健康講座
上記とは別に子ども事業を開催